

目次

- 「旧石川厚生年金会館」……………1
- 令和5年度ファミリー・カレッジ
in 本多の森「親子レシピづくり教室」
「いしかわ動物園とトキとライチョウ」……………1
- いしかわの魅力を再発見しよう！
「ふるさとモット学び塾」……………2
- 生涯学習センター能登分室
「能登校講座」受講者の声……………3
- まなびすとルームからのご案内……………3
- “出会い”(39)……………4
- お知らせ……………4
- Topics……………4

生涯学習センター だより



No.287
2023

ISHIKAWA LIFELONG LEARNING CENTER INFORMATION

令和5年11月24日発行／石川県立生涯学習センター 〒920-0935 金沢市石引4-17-1 石川県本多の森庁舎 TEL.076-223-9571
生涯学習センター ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>

旧石川厚生年金会館

石川県立生涯学習センター館長 山越 善耀



石川県立生涯学習センターの前身である石川県立社会教育センターは昭和41年に金沢市本多町の石川県社会教育会館内に誕生しました。社会教育会館にはそれまで兼六園内にあった石川県立図書館も移転してきており、社会教育会館は社会教育センターと図書館という二つの施設が同居する複合施設でした。当時の館銘板が館長室にあります。そこにはこの三つの建物の名前が刻まれています。その後、社会教育センターは広坂の県庁跡地への移転を機に生涯学習センターと改称し、平成23年には現在の本多の森庁舎へ移転しましたが、この建物には本多の森北電ホールも同居しており、再び「複合施設」となっています。

さて、この建物ですが以前は石川厚生年金会館という名称でした。設計は黒川紀章さん（クアラルンプール国際空港や福井の恐竜博物館も黒川さんの設計）です。自分は建築の専門家ではないのですが、それでも黒川さんやその師匠の丹下健三さん（広島平和記念資料館、国立代々木競技場、東京都庁などを設計）の名前は聞いたことがあります。ちなみに寺町にある谷口吉郎・吉生記念金沢建築館で知られる谷口吉生さんや昨年末に亡くなられた磯崎新さんも丹下さんの門下生だそうです。

兼六園野球場の跡地に建てられた旧石川厚生年金会館は外野の膨らみをそのまま生かした扇形をしています。敷地内には野球場跡であることを示す石碑があり、野球伝来150周年を記念した日本野球聖地・名所150選にも選ばれています。この界限にはいしかわ赤レンガミュージアムや旧石川県金沢第二中学校本館など素晴らしい価値を持つ建築物がいくつもありますが、この旧石川厚生年金会館もその一つに数えられる資格は十分あると思います。当センターにおいでの際は、講座で学ぶだけでなくこの建物や周辺をじっくりご覧になる機会にもしていただければと思います。

令和5年度「ファミリー・カレッジ in 本多の森」

「親子レシピづくり教室」「いしかわ動物園とトキとライチョウ」

「ファミリー・カレッジ in 本多の森」は、子どもを含む若年層の方々に生涯学習への興味をもっていただき、全ての世代を通じた生涯学習の推進を図るための講座です。今年度で8年目となります。

8月5日(土)、今年度の第2回は小川美樹子氏(OGAWA's Cosy Kitchen)を招き、「親子レシピづくり教室」を行いました。小川氏から、加賀野菜について学んだ後、加賀野菜を使ったオリジナルレシピづくりに挑戦しました。「加賀野菜、加賀れんこんについて詳しく知ることができました。れんこんの育て方や育て環境、育てる大切さを分かりやすく説明いただいて良かったです。」「加賀野菜の特徴、生産の様子を知ることができて、普段食べている野菜の生い立ちが分かり良かった。」「この講座を通して5年生の時に加賀野菜のことをもっと深めることができたし、みんなの食べたくなるようなパンが作れそうな気がしました。」などの感想が寄せられました。

今年度の第3回は、10月28日(土)に堂前弘志氏(いしかわ動物園 種の保全グループ グループリーダー)を招き、

「いしかわ動物園とトキとライチョウ」と題した親子講演会を行いました。絶滅危惧種のトキやライチョウについて、いしかわ動物園での保全の取り組みを学びました。「動物園に行った際に今回のことを思い出して見学したいです。」「トキとライチョウの特徴と飼育する時に困っていることが分かったので良かったです。」「トキとライチョウについて沢山知ることができて良かったです。」「トキの羽が黒くなることを知らなかった。」などの感想が寄せられました。

その後、12月2日(土)に名古屋市立大学教授の千田嘉博氏を招いて「石川県の城 魅力再発見～七尾城と金沢城～」と題して石川県の城郭について学びます。

皆様のご参加をお待ちしております。



第3回ファミリー・カレッジ in 本多の森の様子

いしかわの魅力を再発見しよう！

『ふるさとモット学び塾』

「ふるさとモット学び塾」は、第一人者を講師に迎え、講演や現地探訪などを通じて様々な角度から「ふるさと石川」の魅力を紹介する講座です。

■ふるさとふれあい講座(金沢・能登・加賀会場)

専門家による石川の文化・歴史・自然・産業をテーマにした講演会です。

○「九谷焼『技術の継承と未来』」

九谷焼の窯元として、伝統工芸としての九谷焼の歴史や製作工程、新しい九谷焼や将来に向けた取組について伺いました。

感想

- ・九谷焼の奥深さを改めて知ることができました。
- ・身近にある九谷焼が、これ程の手間、時間をかけて作られていることを知り感動しました。

○「御御御付けと腸を考える」

醤油味噌の製造に欠かせないコウジカビの話から、発酵食美人のための御御御付けの効用を伺いました。

感想

- ・食と健康と糎、麴の関係があらためて再認識できた講演でした。
- ・味噌汁の良さを再確認することができました。

○「加賀藩と生類憐憫令」

生類憐憫令について、本来の目的や運用における加賀藩との関わりについて、史料を基に伺いました。

感想

- ・生類憐憫令の認識が大きく変わりました。
- ・江戸時代の生々しい生活を知れて、おもしろかった。

■子どもふるさと博士講座

「金沢城博士になろう！」として、金沢城公園・兼六園を講師の方々とともにたくさん歩き、学びました。

○1日目「金沢城ってどんなお城？」

金沢城の歴史のお話のあと、金沢城三御門めぐりをしました。防衛の拠点としての金沢城について発見の連続でした。

○2日目「金沢城公園見どころツアー」

石垣や本丸跡、鼠多門と玉泉院丸庭園を見学しました。玉泉庵では作法を学びながら抹茶をいただきました。金沢城公園の見どころを川柳にしてみました。

- 子ども川柳
- ・石垣の 種類が多い 金沢城
 - ・ます形で 敵から守る 石川門
 - ・夏に合う 甘い和菓子と 濃い抹茶



○3日目「金沢城の外庭兼六園」

兼六園について、お話と見学で学びました。クイズ「金沢城」で3日間で学んだ事を確認しました。

3日間の感想より

- ・金沢城や兼六園について知れてよかったです。
- ・何気なく通っていた金沢城の道が、次からもっとよく見てみたくなり、興味がもてました。
- ・「クイズ金沢城」で3日間の学んだ成果が出せた。

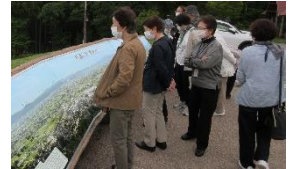
■ふるさとふれあい現地講座

史跡や偉人ゆかりの地などを専門家と一緒に巡る講座です。

5/23「砺波散居村～人々の暮らしと信仰～」

感想

- ・散居村の風景に見とれました。
- ・散居村について理解できました。



6/1「日本遺産の町美川を歩く」

感想

- ・美川には興味深い場所が沢山ありました。
- ・北前船で賑わっていた頃の事を想像できました。



9/20「能登の奇祭・お熊甲祭りを訪ねる」

感想

- ・日本の伝統行事を大切にしていきたいと思いました。
- ・田舎の壮大な祭りを初めて見て感動しました。



■ふるさと発見出前講座

地元での学習を応援するために、小中学校や公民館に専門の講師を派遣する講座です。

学校や公民館がそれぞれのニーズに合わせて講座のテーマを設定しています。

☆今年度のテーマ☆

- 「加賀野菜について」
- 「輪島塗について」
- 「野々市の自然災害と防災」
- 「こまつトマト」
- ・・・ などなど



感想

- ・九谷焼が約 500 年前からあったのがすごかった。
- ・輪島塗はとても貴重なものだということが分かった。
- ・話を聞いて和菓子や色々の和菓子屋に興味を持ちました。
- ・イカリモンハンミョウは小さいが走るのが速かった。



生涯学習センター能登分室

「能登校講座」受講者の声

石川県民大学校能登校は、能登空港の開港に伴い平成15年5月に開校し、20年が経過しました。今年度も、著名講師を招聘する「能登文化講座」や「夏休み子どもわくわく科学教室」の実施など、幅広い年齢層を対象とした講座を実施しています。今年度の講座の様子と受講者の声からいくつか紹介します。

■ 能登文化講座

京都大学名誉教授・石川県立歴史博物館館長である藤井譲治氏を講師にお迎えし、「加賀百万石の成立と家康」と題して講演していただきました。

《受講者の感想から》

- ・家康と前田家（利家・利長）との関係で、すごく気にかけていたことがよく分かりました。石高の変化も少し分かって良かったです。
- ・史料の各書状が面白かったです。時代を読み取れるもので興味深く聞きました。
- ・加賀百万石の陰に隠れて能登についてほとんど知らなかったのが、能登領の形式に興味を湧いてきました。

■ 夏休み子どもわくわく科学教室

身近な題材を用い、科学に興味を持つきっかけとなるような実験が数多くあり、参加者の目がキラキラと輝き始めていました。

《教室の様子》



■ ふるさとふれあい能登校講座

石川の歴史・文化・自然・産業等について、県内の各界で活躍する講師からふるさとの魅力を実感できる話を直接お聞きする講座です。

《受講者の感想から》

- ・生産物の成り立ち、開発の努力がよく理解できました。（6/13「ぶどう『ルビーロマン』開発の背景と経緯」）
- ・能登国分寺の成り立ちなどが少しずつ分かってきて良かったです。（6/22「能登国分寺跡の発掘調査」）
- ・イカ釣りや大和堆の現状に問題意識を持つことができました。（7/26「小木の中型いか釣りをとりまく現状」）
- ・能登にたくさんの古墳があることを知り、興味深かったです。（8/29「ヤマト政権と能登の軍団」）

■ 能登の歴史探訪講座

能登の歴史を学び、ゆかりの史跡や文物を訪ねて、ふるさとへの理解を深めます。

《受講者の感想から》

- ・能登の一向一揆には、新たな気づきがあり理解することができました。

（10/12 輪島市阿岸本誓寺）



まなびすとルームからのご案内

● 視聴覚ライブラリーより、新着映像教材のご案内

生涯学習センター視聴覚ライブラリーでは、生涯学習やお子様の情操教育に役立つ映像教材を順次整備し、県民の皆様に無料で貸し出しています。

最近配架となりました教材の1つを紹介します。

- ・「岬のマヨイガ」…ある事情で家を出てきた17歳のユイト、両親を事故で亡くしたショックで声を失った8歳のひより。ふしぎなおばあちゃん・キワさんと出会い、海を見下ろす岬に建つ、ふしぎな古民家「マヨイガ」に住むことに。そこは、「訪れた人をもてなす」という伝説の家だった。

このほかにも「いしかわ大百科」などの県制作番組が配架となっております。ぜひ、当センターホームページもしくは「あいあいネット」でご確認ください。

ご登録は無料です

● いしかわマナビめーるのご案内

石川県立生涯学習センターでは、パソコンや携帯電話、スマホ（送信元のアドレス）に直接、講座情報などを電子メールでお送りするサービスを実施しています。お申込み方法は、皆様のパソコンや携帯電話、スマホなどから電子メールの件名を「メール申込み」とし、お名前を kendai@pref.ishikawa.lg.jp に送信してください。



● 県民企画展示(マナビコーナー)について

まなびすとルーム内「マナビコーナー」では、生涯学習の成果の発表や交流の場として、県民の皆様の作品を展示しています。なお、出展・入場は無料です。（出展の希望、展示の予定については、電話でお問い合わせいただくか、当センターのホームページでご確認ください。）

● 石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」について

「あいあいネット」では、県民の皆様に県や市町等の生涯学習情報をインターネットで提供しています。

講演会やセミナー・教室の講師をお探しの方は「講師案内」から、当センター視聴覚ライブラリー所蔵の教材については「視聴覚教材情報」から、カテゴリーやキーワードでお探しいただけます。

このほか「講座案内」の検索や「講座ビデオ」の視聴なども可能です。ぜひ、ご活用ください。

● 「あいあいネット」へのアクセスは…

URL <http://iinet.pref.ishikawa.jp/>

もしくは で

石川県立生涯学習センター まなびすとルーム

TEL 076-223-9574 FAX 076-223-9004



サイカチの巨樹を階上に見る

NPO 法人石川県自然史センター顧問 高木 政喜

今年、10月に巨樹・巨木林全国大会が階上町(青森県八戸市)で開催され、その折、エクスカーションでサイカチ(*Gleditsia japonica*)の巨樹を探訪した。サイカチは落葉樹のマメ科の植物で一見、ニセアカシアのような羽状複葉の葉を枝に着け、秋には長さ20cm余りのややねじれた紫褐色の豆果を着ける。幹周6.4m(地表から1.3mの高さ)、樹高15mあり、樹齢800年と推定されている。地表から1.5mで大きく二股に分かれ、互いに上に向かって勢いよく葉を拡げている。幹の下部には損壊部分が見られるが、枝も大いに伸び、茂る葉の勢いのある立派な巨樹である。幹には枝が変化した鋭い刺があり、特徴的である。

このサイカチの所有者の平野氏は、バケツに水とサイカチの果実を入れ手でかき混ぜると泡立ち、昔はこれで洗髪の手洗代わりに用いられていたとの事で実習もしていただいた。このことは、サイカチの記載文にあるが、私にとって初めて見る光景で納得した。種子にはサポニンが含まれているとのことであった。植物の種子に広く含まれている成分である。

サイカチは、石川県でも日当たりのよい川岸や海崖の斜面にも見られるが、生育地が限られ、個体数も少なく絶滅危惧Ⅱ類に評価されている貴重な植物である。私は水平分布についてはサイカチがヤブツバキクラス域に生育している植物と思い込んでいたので、東北地方の気候帯に生育していることに意外性を感じて葉序や幹の感触など少々ゆっくり観察した。そのようなこともあり、大変意義深い出会いのエクスカーションとなった。

お知らせ

令和5年度石川県民大学校大学院 「石川の博士」養成講座 論文発表会・記念講演

◇日時/令和6年1月27日(土) 13:30~15:50

◇会場/石川県立生涯学習センター

◇日程/13:30~14:40 論文発表会

令和5年度石川県民大学校大学院受講生代表者による論文・講座企画書の発表

14:50~15:50 記念講演

演題「金沢城石垣の技と美」

講師 石川県金沢城調査研究所
所長 富田 和気夫



☆受講無料

☆申込み要 当センターにお問い合わせください。

◆お問い合わせ

社会教育グループ TEL 076-223-9572 FAX 076-223-9585

令和5年度(第54回) いしかわ映像作品コンテスト

作品募集

題材は自由!日々の活動やふるさと等をテーマに、あなたの想いを「実際に役立つ視聴覚教材」として、映像で表現してみませんか。

◇応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

◇応募規定

- ①実写の動画を主体とする10分以内の作品
- ②他の映像作品コンクール等に応募または受賞した作品も応募可。
・詳しくは石川県視聴覚教育協議会ホームページをご覧ください。センターホームページのトップに関連リンクがあります。

◇応募締切/令和6年1月25日(木)(当日消印有効)

◆お問い合わせ(応募先)

石川県視聴覚教育協議会事務局
(学習情報グループ内)

TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585



~Topics~

10月28日(土)から12月2日(土)まで、「マナビフェア in 本多の森 2023」を開催しています。28日のオープニングセレモニーでは、翠星高校の「出張ピュアマート」による野菜などの食品の出張販売のほか、県民大学校連携機関の金沢勤労者プラザ主催教室の方々によるハーモニカ演奏やキッズダンスが披露され、多くの方のご来場をいただきました。来たる12月2日のクロージングセレモニーでは、北陸学院中学校ハンドベルクラブによるハンドベル演奏が催され、今年のフェアを締めくくります。



石川県立生涯学習センター

〒920-0935 金沢市石引4丁目17-1

石川県本多の森庁舎2階

- ・総務グループ 076-223-9571
- ・社会教育グループ 076-223-9572
- ・学習情報グループ 076-223-9573
- ・FAX 076-223-9585
- ・まなびすとルーム TEL 076-223-9574
- FAX 076-223-9004

石川県立生涯学習センター 能登分室

〒929-2392 輪島市三井町洲衛10部11番1

のと里山空港ターミナルビル4階

TEL 0768-26-2360 FAX 0768-26-2361



講義室・会議室・作業室をお貸ししています。
詳しくはホームページでご確認ください。

ホームページ URL … <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/> (もしくは で)